

第1学年1組 学級活動指導案

平成18年1月26日(木) 第4校時
授業者 T1(教諭)・T2(図書支援員)

1 題材 としよしつの本のひみつを見つけよう(読書指導)

2 題材設定の理由

子供たちは、低学年の時から塾やスポーツなどの時間に追われて、毎日忙しく生活している。家庭では、ついテレビやゲームなどの映像に流されたり、夜型の生活になってきたりして、家族でゆっくりと本を読むことが難しい。子供の読書離れが問題になって久しいこんな時だからこそ、学校生活の中で意識的に読書の時間をもちたい。

本校では、毎週火曜日と木曜日、隔週月曜日の朝、全校一斉に読書タイムを設けている。この時間には、学校全体がどの子も落ち着いて読書に親しんでいる。読書離れといわれる子供たちもこのように読むきっかけさえ与えれば、自ら本を読むことができることが分かる。

しかし、読書の内容をみると物語、怪談物、生き物、クイズなど自分の好きな種類に偏っていて、いろいろな分類の本があることを知っている子はまだ少ない。そこで、図書室には、いろいろな分類の本があることに気づき、本の選択の幅を広げ読書意欲を更に高めるために、この題材を設定した。

3 児童について

本校の個人の読書カードによる図書室の本の貸し出しは、昨年度までは3年生から行えるようになっていた。1・2年生は、個人的には大休みと昼休みに図書室に行ってそこで読書をしたり、学級ごとに担任の管理の元で貸し出してもらった本を読んだりしていた。しかし、今年度からは代本板や読書カードが全児童数整ったので、1年生から図書室の本の貸し出しができるようになった。そこで、1年生の子供たちが学校生活に慣れてきた6月上旬に、図書支援員による本の貸し出しの仕方について読書指導をもらった。このことをきっかけに、子供たちは、図書室の本を借りるためによく図書室を利用し、進んで読書をするようになってきた。

また、週時程に朝の読書タイムが位置づけられているので定期的に読書ができ、この頃はほとんどの子が文字に慣れ一人ひとり楽しく本を読んでいる。全体的に読書の好きな子が多く、図書室で借りてきた本をいつも机の中に入れて身近に置き、給食を待っている間や課題やテストなどが終わった後の時間にも静かに読書している。また、保護者ボランティアの方の読み聞かせをどの子もとても楽しみにしていて、集中して聞いている。

11月の読書月間には読書に励み、クラスのほとんどの子が図書委員会が提案した読書目標冊数を読み記念のしおりをもらったり、物語の続き話に応募したりする子もいて読書に意欲的である。

しかし、子供たちの中には、読みたい本をなかなか決められない子や、少し長編になったりカラーの写真や絵が少なかったりすると、最後まで読まずに本を取り替えに行こうとする子もいる。また、図鑑やクイズなどには興味を示すが、文字の多い本では、絵や写真をばらばらと眺めているような子もいる。

4 指導について

子供が読書を楽しむために、教師が感動する本や新しい本を紹介したり、読み聞かせをしたり、図書室に行かせたりして本を利用する機会をなるべく多く持つようにしている。授業では、音読を意識して取り入れたり、帰りの会では詩の朗読や暗唱をしたり、音読の家庭学習を出したりして、読むきっかけを多くし文字に慣れさせるようにしている。

また、おすすめの本のカードを書いて本のあらすじを簡単にまとめたり、心に残った場面を絵で表したり、感想を自分の言葉で表現したりしている。この頃は、友達のおすすめの本を読む子も出てきている。機会を見つけて読書を評価し、子供たちと本についての会話を多くして、読む意欲を高めている。

読書量を増やし継続を図るために、読書カードから一人ひとりの読書力や読書傾向を知り、いろいろな本を読むように言葉がけをしていきたい。今回、図書支援員との分類学習を通して読書の幅を広げ、家庭とも連携して親子で読書をする機会を増やしたい。そして、読書の楽しさを味わい読書習慣の定着を図り、いろいろな本の一人読みへの意欲を高め、豊かな生き方に結びつけていきたい。

5 学習計画

第1次 おすすめの本のカードを書く。

(朝の会)

第2次 本は分類ごとに配架されていることや、いろいろな本を読む大切さが分かる。…本時

6 本時の目標

図書室の本はいろいろな仲間に分けられていることが分かり、進んでいろいろな分類の本を読むとする態度を育てる。

7 準備物

「おすすめの本」のカード・本・表、分類番号表、図書室の配架地図、ワークシート、探検バック、図書ラベルの絵

8 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（☆）	
	T 1（担 任）	T 2（図書支援員）
○1の1の「おすすめの本ベスト3」を予想する。	・自分の組の人気の本を予想させる。	・ベスト3の本と表を見せる。
とよしつの本のひみつを見つけよう		
○図書室の本は、仲間分けされていることが分かる。 ・ワークシートに書く。	・並べ方にきまりがあることに気づかせる。	・低学年用分類番号表と図書館の地図を見せて、0～9までの分類番号の説明をする。
○本探しクイズをする。	・どこにどんな本があるかだいたい場所を見当付けさせる。	・正解を答える
○本がどこの書架にあるか、図書室の本棚から探してワークシートに書く。 ・日本のお話の本 ・外国のお話の本 ・言葉の本 ・自然の本 ・図鑑の本	・本の並べ方を知っていると読みたい本が早く見つかることに気づかせる。	・本を探されない子に助言して見つけさせる。
○背表紙の図書ラベルの秘密について考える。 ・分類番号 ・作者名 ・シリーズ番号	☆図書室の本は、種類別に配架されていることが分かったか。	・図書ラベルのそれぞれの数字や文字について説明する。
○いろいろな本を読むことの大切さが分かる。	・勉強やスポーツや食べ物に例えて気づかせる。	・いろいろな分類の本を読むことの大切さについて話す。
○今日の学習について分かったことや感想を書き、発表する。	☆図書室の本はいろいろな仲間に分けられていることが分かり、進んでいろいろな本を読むとしていたか。 (ワークシート、発表)	・学習して分かったことを書かせ、家庭での話題となるようにワークシートを持ち帰り、家の人の感想を書いてもらう。